

評価項目	No.	モニタリング項目
I ・ 特異な生態系の生産性が維持されていること。	1	衛星リモートセンシングによる水温・クロロフィルaの観測
	2	海洋観測ブイによる水温の定点観測
	3	アザラシの生息状況の調査
	4	海域の生物相、及び、生息状況（浅海域定期調査）
	5	浅海域における貝類定量調査
	①	航空機による海氷分布状況観測
	②	アイスアルジーの生物学的調査（種組成、色素量（クロロフィルa量））
	③	「北海道水産現勢」からの漁獲量変動の把握
	④	スケトウダラの資源状態の把握と評価（TAC設定に係る調査）
	⑤	スケトウダラ産卵量調査
⑥	トドの日本沿岸への来遊頭数の調査、人為的死亡個体の性別、特性	
II ・ 海洋生態系と陸上生態系の相互関係が維持されていること。	4	海域の生物相、及び、生息状況（浅海域定期調査）
	5	浅海域における貝類定量調査
	6	ケイマフリ・ウミネコ・オオセグロカモメ・ウミウの生息数、営巣地分布と営巣数調査
	17	河川内におけるサケ類の遡上数、産卵場所および産卵床数モニタリング
	22	海ワシ類の越冬個体数の調査
	⑧	オジロワシ営巣地における繁殖の成否、及び、巣立ち幼鳥数のモニタリング
	⑨	全道での海ワシ類の越冬個体数の調査

※「No.」は、「別表. 3 モニタリング項目一覧」に記載された整理番号。

評価項目	No.	モニタリング項目
Ⅲ 遺産登録時の生物多様性が維持されていること。	3	アザラシの生息状況の調査
	4	海域の生物相、及び、生息状況（浅海域定期調査）
	6	ケイマフリ・ウミネコ・オオセグロカモメ・ウミウの生息数、営巣地分布と営巣数調査
	7	エゾシカの影響からの植生の回復状況調査（林野庁1ha囲い区）
	8	エゾシカの影響からの植生の回復状況調査（環境省知床岬囲い区）
	9	密度操作実験対象地域のエゾシカ採食圧調査
	10	エゾシカ及び気候変動等による影響の把握に資する植生調査
	11	シレットコスミレの定期的な生育・分布状況調査
	13	陸上無脊椎動物(主に昆虫)の生息状況(外来種侵入状況調査含む)
	14	陸生鳥類生息状況調査
	15	中小大型哺乳類の生息状況調査(外来種侵入状況調査含む)
	16	広域植生図の作成
	18	淡水魚類の生息状況、特に知床の淡水魚類相を特徴付けるオシヨロコマの生息状況(外来種侵入状況調査含む)
	23	シマフクロウの生息数、繁殖の成否、繁殖率と巣立ち幼鳥数、餌資源などに関する調査。標識や発信機装着による移動分散調査。死亡・傷病個体調査と原因調査
	24	年次報告書作成による事業実施状況の把握
	25	年次報告書作成による社会環境の把握
	③	「北海道水産現勢」からの漁獲量変動の把握
	⑥	トドの日本沿岸への来遊頭数の調査、人為的死亡個体の性別、特性
⑧	オジロワシ営巣地における繁殖の成否、及び、巣立ち幼鳥数のモニタリング	
⑩	エゾシカの主要越冬地における地上カウント調査（哺乳類の生息状況調査を含む）	

※「No.」は、「別表. 3 モニタリング項目一覧」に記載された整理番号。

評価項目	No.	モニタリング項目
IV 遺産地域内海域における安定的な漁業が両立されていること。	1	衛星リモートセンシングによる水温・クロロフィルaの観測
	2	海洋観測ブイによる水温の定点観測
	3	アザラシの生息状況の調査
	6	ケイマフリ・ウミネコ・オオセグロカモメ・ウミウの生息数、営巣地分布と営巣数調査
	17	河川内におけるサケ類の遡上数、産卵場所および産卵床数モニタリング
	①	航空機による海氷分布状況観測
	②	アイスアルジーの生物学的調査(種組成、色素量(クロロフィルa量))
	③	「北海道水産現勢」からの漁獲量変動の把握
	④	スケトウダラの資源状態の把握と評価(TAC設定に係る調査)
	⑤	スケトウダラ産卵量調査
	⑥	トドの日本沿岸への来遊頭数の調査、人為的死亡個体の性別、特性
⑦	トドの被害実態調査	
⑩	海水中の石油、カドミニウム、水銀などの分析	
V 軽減されるなど、サケ科魚類の再生産が可能な河川生態系が維持されていること。	17	河川内におけるサケ類の遡上数、産卵場所および産卵床数モニタリング
	18	淡水魚類の生息状況、特に知床の淡水魚類相を特徴付けるオシヨロコマの生息状況(外来種侵入状況調査含む)
VI エゾシカの高密度状態によって発生していること。	7	エゾシカの影響からの植生の回復状況調査(林野庁1ha囲い区)
	8	エゾシカの影響からの植生の回復状況調査(環境省知床岬囲い区)
	9	密度操作実験対象地域のエゾシカ採食圧調査
	10	エゾシカ及び気候変動等による影響の把握に資する植生調査
	11	シレットコスミレの定期的な生育・分布状況調査
	12	エゾシカ越冬群の広域航空カウント
	13	広域植生図の作成
	14	陸上無脊椎動物(主に昆虫)の生息状況(外来種侵入状況調査含む)
	15	陸生鳥類生息状況調査
	16	中小大型哺乳類の生息状況調査(外来種侵入状況調査含む)
	⑪	エゾシカ主要越冬地における地上カウント調査(哺乳類の生息状況調査を含む)
	⑫	エゾシカ間引き個体、自然死個体などの体重・妊娠率など個体群の質の把握に関する調査

※「No.」は、「別表. 3 モニタリング項目一覧」に記載された整理番号。

評価項目	No.	モニタリング項目
Ⅶ 人為的レクリエーション と自然環境保全が等 立されていること。	6	ケイマフリ・ウミネコ・オオセグロカモメ・ウミウの生息数、営巣地分布と営巣数調査
	10	エゾシカ及び気候変動等による影響の把握に資する植生調査
	19	利用実態調査
	20	ヒグマの目撃・出没状況、被害発生状況に関する調査
	24	年次報告書作成による事業実施状況の把握
	25	年次報告書作成による社会環境の把握
Ⅷ 気候変動の影響も しくは影響の予兆を 早期に把握できること。	1	衛星リモートセンシングによる水温・クロロフィルaの観測
	2	海洋観測ブイによる水温の定点観測
	3	アザラシの生息状況の調査
	10	エゾシカ及び気候変動等による影響の把握に資する植生調査
	16	広域植生図の作成
	18	淡水魚類の生息状況、特に知床の淡水魚類相を特徴付けるオショロコマの生息状況
	21	気象観測
	①	航空機による海氷分布状況観測
	⑥	トドの日本沿岸への来遊頭数の調査、人為的死亡個体の性別、特性

※「No.」は、「別表. 3 モニタリング項目一覧」に記載された整理番号。